

アクション・リサーチのまとめ

学校名 岐阜県立大垣北高校

研究年度 19 年度 研究対象 (学年クラス等) 1年生 生徒数 321名(男子190、女子130、留学生1)

科目名 英語 I 単位数 2 使用教科書名 UNICORN ENGLISH COURSE I (文英堂)

学年の様子・特徴

学習意欲が高く、生徒の多くはどんどん先へ学習を進めたいと思っている。英語の学習を通じて様々なものに興味をもち、レッスンごとの英作文では、学んだテーマについてアイデア豊かな文章を書く。一方、音読や返答など十分な声が出せなかったり、復習を十分にしておらず学習内容が定着していない生徒もいる。

問題の特定

音読や書き取りなど、様々な角度から学習の定着を図る方策と、生徒が音読に積極的に取り組む指導法を探究する。

現状把握

A 授業観察・授業アンケート

新出単語や英文について、音読にしっかりと取り組んでいるという生徒は 60%と、教員が感じるよりは多い。復習をしっかりとしていると言い切れる生徒は 45%と少なめである。レッスン全体の要約で理解が深まったと感じている生徒がほとんどである。特に文構造や文法の定着が難しい様子で、授業での発問に戸惑う生徒もいる。

B G T E C

基本的な「聞く・読む・書く」力は十分に身に付いている。今後の課題として長文を速く読み、正確に情報をつかむインプットの力、読んだり聞いたりした内容をまとめるアウトプットの力が必要だと分かった。

C 質問紙調査

普段の授業において、読み取るための活動、読み取った内容に基づく活動は多く設定している。一方で、「文章や会話の内容を予想しながら読み進めること」、「書かれた内容が表現されるように適切に音読すること」、「聞き取った内容をまとめるような総合的な活動」には取り組めていない。また生徒の側では復習があまり十分でないという結果はここにも見て取れる。

リサーチ・クエスチョン

様々な面から英語を理解する力を伸ばす指導、また学んだ内容を定着させていく指導としてどのような方策が有効か。

仮説・実践・検証

仮説 1

実践 1

検証 1

<読む活動>

読み取る前に、本文内容に関する活動を設け、本文の全体像について全体のテーマを理解した上で読み進めることで、正確に読む力が向上するのではないか。

・冒頭にレッスン全体に目を通し、内容に関する Question に答えて全体テーマをとらえてから、詳細を読み進めるよう促す。
・冒頭の Question としては、教科書中の "Listening"(レッスンの冒頭ページ)と "Writing"(レッスンのパート毎)を利用した。

<生徒の感想・テスト等の評価から>

・文章の全体像をつかんでおくことで、文章の内容を予測しながら読み進め、各パラグラフのトピックをより正確につかむことができた。
・以前よりスムーズに全体の summary をまとめることができた。

仮説 2

実践 2

検証 2

<声を出す活動>

音読練習と文章の内容把握を組み合わせ、一致させて読むことによって、正確に文構造や文脈を理解することができるようになるのではないかと。

・英文を大まかな句と節に切り、文全体の構造を把握するスラッシュリーディングの方法を生徒に紹介する。
・「読みの切れ目=内容の切れ目」を意識しながら、スラッシュごとに音読する。内容把握の段階ではスラッシュごとの句、節を意味のまとまりとしてとらえる。

<生徒の感想・テスト等の評価から>

・未知の英文に対して、スラッシュリーディングをすることで、よりスムーズに読み進めることができるようになった。
・内容把握後の音読では、心情や状況を理解して、英語のリズムをつかんで読むようになり、聞き取る力にも反映されてきた。

仮説 3

実践 3

検証 3

<復習>

語句や文構造を反復する練習や、使用する機会を設けることで、学んだ内容が定着するのではないか。

レッスンのパートごとに重要な表現下や語句を確認するために、本文プリントを配布し、各自で確認する。またそれらの表現を中心に本文のディクテーションテストを行う。
レッスンごとに、本文のテーマに沿った英作文に取り組み、学んだ表現を適切に使用して書くよう促す。

<生徒の感想・テスト等の評価から>

・語句や構文の定着の状況や音読に取り組む姿勢は良くなった。生徒達にとっても取り組みやすい様子である。
・英作文では、様々な表現を使用することで考えをより深く表現することができた。また英語表現自体への理解が深まった様子である。

研究の成果

<生徒の感想・テスト等の評価から>

教科書レベルの内容については一定の成果があったと考えている。トピックや文構造を考えながら読み進めるよう促すことで、生徒達は読む目的をもって考えながら英文読解に取り組むようになった。内容理解・音読の両面からスムーズに読み進めることができるようになったと感じている生徒は多い。音読とディクテーションにより、声を出すことが習慣となり、授業も活性化した。またディクテーションや英作文で学んだ事項を使用することで、目的をもって復習するようになり、学習習慣としても定着してきた。

今後の課題

今年度課題とした3つの実践を生かし、より高度で複雑な文章に対応できる能力を養成したい。文章中のディスコースマーカーなどにも注目し、英文全体の概要を把握するスピードのアップを図りたい。

下の資料は教科書から作成

資料

LESSON 7 ONE STEP BEYOND ～First Questions～

◇本文全体を読み、下の文について true(T) 、又は false(F)の記号で答えなさい。

(所用時間 15～25 分)

1. HALO is a volunteer group that does a variety of volunteer activities.
2. Chris planned to become a farmer after he graduated from an agricultural college.
3. The Berlin Wall was torn down in 1989, and he started working for a finance company.
4. He was sent to Cambodia and then to Mozambique and he was taught there how to remove landmines.
5. Every day, 70 people step on landmines and are injured or lose their lives in the world.
6. While he was checking how such a tragic accident could occur, he felt very weak. That's why he took three steps back along the path, he was thrown up in the air and fell hard against the ground.
7. When he got injured, it was noisy around him.
8. After the accident, he sometimes thought, "Dying might be the easiest thing to do."
9. He came to use a computer and do simple things soon, but he had another hope. He wanted to walk with an artificial leg.
10. Then he realized that it is very important to run in the London Marathon.
11. The London marathon became a charity event to make money for landmine victims in Cambodia.
12. The London Marathon was his first marathon, so he couldn't finish it.
13. Chris runs in the marathon and it increases interest in the anti-landmine movement.
14. The International Campaign for Banning Landmines won the Nobel Peace Prize and he was invited to the 1998 Nagano Olympics as a torch runner.

資料

LESSON 8 ARE WE ALONE IN THE UNIVERSE? **Before You Read**～Listening～

1. Many people thought there was life on this planet. And they made many interesting stories about it.
2. This planet is famous for its beautiful rings. These rings are mainly made of ice.
3. This planet is next to the Earth, but it is nearer to the Sun. It is the brightest planet which can be seen from the Earth in the night sky.
4. This planet is red like our blood. It is next to the Earth, but it is farther from the Sun than the Earth.
5. This planet is the largest of these three planets and it's also the farthest from the Sun.
6. This planet is the second closest to the Sun. And it has no rings.

資料

LESSON 8 ARE WE ALONE IN THE UNIVERSE?

Questions for Summary

1. In the movie E.T., what did the aliens look like?
2. Why was the movie so popular?
3. In 1906, what did Percival Lowell see across the surface of Mars?
4. What did NASA scientists find in 1996?
5. What conclusion did they come to from the stone?

6. What did the photos sent by Mars Global Surveyor show?
7. What are Pioneer 10 and voyager 1 and 2 carrying?
8. What does SETI stand for?
9. What are Jill Tarter and other SETI scientists doing?
10. Explain Jill's opinion in Japanese.
11. What are the "false signals" caused by?
12. What was created in 1999 to analyze data more quickly?

Summary

◇Percival Lowell

例①He thought he saw canals across the surface of Mars – 109 canals in total.

②He believed that they were built by intelligent beings.

③After that, people believe in Martians for many years.

その他のトピック

◇Scientists at NASA

◇Mars Global Surveyor

◇Pioneer 10 and Voyager 1 and 2

◇The SETI Institute

◇ SETI@home

資料

“English Journal” (August 2005)記事より(4月に生徒配布)

資料

ディクテーション用の練習プリント

資料

生徒作文の例

資料

朝リスニングの例